

地球温暖化防止活動インタビューヒアリングシート

平成26年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域における地球温暖化防止活動促進事業）

平成26年 1 1月 2 5日現在

団体名	学校法人 工学院大学 科学教育センター
連絡先	03-3340-2438
URL	http://www.kogakuin.ac.jp/kogakuin/structure/organisation/scenter/

事業名 研修会名	わくわくサイエンス祭「科学教室」開催事業 スーパー・サイエンス・ティーチャー養成講座開講事業		
テーマ	—	所要時間	—
人数	—	費用	無料
対象	<input type="checkbox"/> 企業・団体 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> 町会・自治会 <input type="checkbox"/> 保育園・幼稚園 <input checked="" type="checkbox"/> 小学校（低学年・中学年・高学年） <input checked="" type="checkbox"/> 中学 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他		
概要 ポイント	<p>我国では、青少年の理科離れが憂慮され、科学技術創造立国としての存続が危ぶまれる状況にありながらも、依然としてこの傾向は止まっていません。学校法人工学院大学・科学教育センターは、小学生、中学生や高校生に科学の楽しさを直接知ってもらう事業として「科学教室」を開催しています。また、小学校、中学校、高等学校で理科を教えておられる先生方の理科授業・理科実験の教授能力の飛躍的な向上を目的とした「スーパー サイエンス ティーチャー（SST）」養成講座を開講しております。</p>		
内 容	<p>本学の科学教育面における社会貢献事業の一つとして『科学教室』を開催しています。この「科学教室」は、子供たちを科学好きにする地域の夏の行事としてすっかり定着しています。毎年、8000名の小学生、中学生、高校生が訪れ用意された 80 テーマほどの理科・科学実験を楽しんでおり、これまでの参加者総数は既に 12 万人に達しようとしています。一方、「科学教室」は、支援参加する生徒・学生諸君にとってデザイン能力等の育成を目指す理科・工学教育の実践プログラムと位置づけられています。</p> <p>SST 養成講座は、小学校、中学校、高等学校にて理科教育に携わっている教諭を対象に、理科授業及び実験能力を高めるために開講するものです。本講座では、参加する先生方全員が課題とする実験を最初から最後まで個々に実際に行い、そこで体験したことをまとめてプレゼンテーションをすることなどを通し、教室で求められる理科に関わる指導能力を高めます。</p>		
申込み方法	工学院大学 HP をご確認ください。		